

まだ見ぬヨーロッパ イタリア編

マテラの奇観と南イタリア・バジリカータの田舎町 10日間



岩山に張り付くように家々が並ぶカステルメツァーノ

ここに注目。旅のポイント

バジリカータの山間

「ルカニア・ドロミテ」に点在する美しい村へ

州面積の約半分を山岳地帯が占めるバジリカータには、「ルカニア・ドロミテ」と呼ばれる地域があります。標高は1450メートルほどですが、荒々しく天を刺すような岩山はまさにドロミテ地方を彷彿とさせ、その岩山の麓に家々が建ち並ぶ村カステルメツァーノの姿はここでしか見られない絶景です。鷲ノ巣村のアチェレンツァ、ワイン醸造に利用された石造りの建物が連なるピエトラ

ガッラなど、バジリカータ州に点在するまだ見ぬ風景に出会えます。



ワインの醸造に利用された石造りの建物「バルメンティ」が連なるピエトラガッラ



高台にできた鷲ノ巣村アチェレンツァ (イメージ)



ツアープランナーより

東京都の約4倍の面積をもつ南イタリアのバジリカータ州。ワールドでもプーリアとの州境に近い世界遺産マテラを訪れるコースはありましたが、それ以外の町々に足を延ばすコースは少なく、これまでなかなかご紹介する機会がなかった地域です。しかし、実際に訪ねていただくと、「イタリアの最も美しい村」にも登録されるような個性的な町や村が点在し、奥深い歴史や新鮮な風景の連続に驚かれることでしょう。このコースでは、美しいアドリア海を望むガルガーノ半島(プーリア)から、山間のルカニア・ドロミテに点在する美しい村々、南イタリアの歴史を感じる町々など、この地域の様々な魅力をご紹介します。また、世界遺産マテラでは3連泊とし、町中の隠れた見どころや迷路のような旧市街、知られざる周辺の見どころにも焦点を当てました。アグリツーリズモやワイナリー、近年マテラにも増えてきた地産地消の洒落たレストランなど、この地方の食文化に触れる楽しみも加え、「知られざるイタリア」を満喫します。

洞窟住居だけではない

世界遺産マテラと周辺の隠れた魅力をご紹介します

洞窟住居で知られるマテラのサッシン地区は、2つの谷地区とその間の平坦なチヴィタ地区から成り立っています。1993年のユネスコ世界文化遺産登録以降、かつては廃墟のようにになっていたサッシン地区は徐々に活気を取り戻し、2019年に町が欧州文化都市に選ばれて以降は、その特異な景観からますます注目を集めています。マテラの素顔を

ゆっくりと見ていただくため、3連泊の拠点は立地を重視し、迷路のような町並みを歩き、自由行動もゆっくり楽しんでいただけるチヴィタ地区のホテルをご用意しました。町の地下空間に広がる大貯水槽や大聖堂、迷路のような路地など、洞窟住居だけに留まらないマテラと周辺の魅力をご紹介します。



マテラの宿泊で、見逃せないのがサッシン地区の夜景です。ホテルからも近い、ジョバンニ・パスコリ展望スポットからは幻想的な風景が見渡せます(視察時撮影)



13世紀にロマネスク様式で建てられた大聖堂。内部は様々な年代を経て修復されています。写真はプレゼーペのある礼拝堂。その下には修復で発見されたクリプタが残っています(視察時撮影)



旧市街の広場の地下空間に広がる、かつての大貯水槽「パロンパロ・ルンゴ」は内部を歩くことができます。雨水を貯めて市民の暮らしを支えたという、独特な町の歴史が感服できます

知られざるマテラ近郊の印象的なみどころ

マテラの町並みを対岸から渓谷越しに眺める展望台や、石造りの水道橋が印象的なグラヴィーナ・イン・プーリア、南イタリアで最古級ともいわれ、アダムとイブなどが描かれた「原罪のクリプタ」(洞窟教会)など、マテラ周辺にも見どころが点在しています。また、通常のツアーでは訪れる機会の少ない、イオニア海沿いに残るギリシャ時代の遺跡が

残るメタポントやポリコロにも足を伸ばします。



「イタリアの最も美しい村」のひとつグラヴィーナ・イン・プーリア。映画「007 ノー・タイム・トゥ・ダイ」にも登場した水道橋

プーリア北部 美しいガルガーノ半島をドライブ

ガルガーノ半島はかつて独立した島だったものが、アペニン山脈から崩れてきた堆積物により陸続きになった地です。アドリア海と白い石灰岩の断崖、ギリシャやアンダルシアを思わせる白壁の家々が並び色彩が美しく風光明媚で、フェニキア人、サラセン人、ノルマン人など多様な民族が行き交った歴史も見逃せません。大天使ミカエル信仰の巡礼地、モンテ・サンタンジェ

ロも合わせ、プーリア州北部の知られざる見どころをご案内します。



崖の上に白い家々が並び、アドリア海の青との色彩美を奏でるヴィエステ (イメージ)

地元のレストランやワイナリー、アグリツーリズモで地産地消を味わう



左・ワイナリーではチーズ、サラミなどと共にテイastingをお楽しみいただけます。右・野菜を使った素朴な料理やパン団子(写真左)、ペペロニ・クルスキと呼ばれる乾燥赤ピーマン(写真右)もバジリカータの名物(写真は視察時撮影・イメージ)

ご宿泊ホテル マテラでは立地を重視したホテル。ラヴェッロではレストラン自慢の宿に宿泊

- アンドリア：クリスタル・パレス・ホテル
- マンフレドニア：レージョホテル・マンフレディ
- マテラ：アルベルゴ・イタリア ※客室は若干手狭となり、シャワーのみとなります。
- ラヴェッロ：サン・バルバート・リゾート

モダンなスパ施設や噴水のある庭園、そしてこだわりのレストランが自慢のホテル。数々の受賞歴を持つフランコ・ペペ氏が監修したレストラン「プロキシマ」では、伝統的なピッツァとは一線を画す革新的なお食事体験を。旅の最後のお食事には、カンパニャ州で星付きレストランとして評価されている「ドン・アルフォンソ 1890」の支店にて、洗練されたお食事をお楽しみください。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ITA エアウェイズ		ツアーコード：ES026T	
集合・日数・出発日	旅行代金		
【羽田空港集合・10日間】 2月21日(土)、28日(土)	エコノミークラス利用 ¥658,000	ビジネスクラス利用 ¥1,238,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：羽田～ローマ間往復に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥54,400 / 8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港13:20発 → ローマ20:25着 ローマ21:50発 → パーリ22:55着 ⇐ アンドリア24:30着	午後、羽田空港より、航空機にてローマへ。 航空機を乗り換え、パーリへ。 着後、バスにてアンドリアのホテルへ。	(アンドリア泊) □機機
2	アンドリア09:00発 ⇐ モンテ・サンタンジェロ ⇐ マンフレドニア17:00着	午前、「イタリアの最も美しい村(★印)」に登録される★モンテ・サンタンジェロへ。着後、大天使ミカエルの伝説が残る●サン・ミケーレ・アルカンジェロ聖堂や、●サンタ・マリア・マジョーレ教会、●ロタリー廟を見学します。 夕刻、マンフレドニアへ。 【2連泊】(マンフレドニア泊) 朝昼夕	
3	マンフレドニア ⇐ (ヴィエステ) (ベスキーチ)	午前、ガルガーノ半島のドライブへ。この一帯は、昔ながらの伝統漁法トラブッコが今も受け継がれる地域です。白壁の家並みが続くヴィエステやベスキーチに立ち寄りします。 午後、ホテルに戻ります。 【マンフレドニア泊】 朝昼夕	
4	マンフレドニア08:00発 ⇐ カステル・デル・モンテ ⇐ グラヴィーナ・イン・プーリア ⇐ マテラ16:00着	午前、神聖ローマ皇帝フェデリコ2世ゆかりの●カステル・デル・モンテへ。 その後、★グラヴィーナ・イン・プーリアに立ち寄り、昼食と散策。マテラと同じように洞窟が保存される村で、古い水道橋などが残っています。その後、マテラへ向かいます。 【3連泊】(マテラ泊) 朝昼夕	
5	マテラ	午前、マテラの旧市街を散策します。洞窟住居「サッシン」の続く町並みは他に類をみない丘の景色です。広場の地下空間に広がる●地下貯水槽(パロンパロ・ルンゴ)や、●大聖堂、●洞窟住居博物館などへご案内します。 昼食は、地元の食材にこだわった人気のレストランにてお召し上がりください。 午後、自由行動です。ゆっくりと迷路のようなサッシン地区の散策をお楽しみください。 【マテラ泊】 朝昼□	
6	マテラ ⇐ (ムルジャ公園) (原罪のクリプタ) (メタポント) (ポリコロ)	午前、マテラ郊外、谷の対岸からマテラの町並みを望むことができる●ムルジャ公園の展望スポットへ。 その後、南イタリア最古級の洞窟壁画が残る、●原罪のクリプタ(洞窟礼拝堂)を訪れます。 昼食は、アグリツーリズモにて、郷土料理をお楽しみください。 午後、イオニア海沿岸の古代ギリシャ神殿跡が残るメタポントや、ポリコロの●考古学博物館へご案内します。 【マテラ泊】 朝昼夕	
7	マテラ08:00発 ⇐ カステルメツァーノ ⇐ アチェレンツァ ⇐ ピエトラガッラ ⇐ ラヴェッロ17:00着	午前、ルカニア・ドロミテと呼ばれる山岳地域へ。 「イタリアの最も美しい村」に登録される村々を訪ねます。断崖に寄り添うように建つ村★カステルメツァーノや、★アチェレンツァの散策をお楽しみください。 その後、昔の貯蔵庫群が残る景観が印象的なピエトラガッラに立ち寄り、ラヴェッロへ。 宿泊は、「サン・バルバート・リゾート」です。 【2連泊】(ラヴェッロ泊) 朝昼夕	
8	ラヴェッロ (メルフィ) (リオネル・イン・ヴルトレ)	本日は、ヴルトレ山麓周辺の観光を楽しみます。 バスにて、メルフィへ。フェデリコ2世ゆかりの町としても知られています。●メルフィ城(考古学博物館)を見学します。 その後、リオネル・イン・ヴルトレへ。この地域は、ヴルトレ山麓に広がるブドウ畑で栽培されるワインの産地です。 イタリアのワイン評価誌で賞を獲得したこともあるワイナリー「カンティナー・デル・ノタイオ」を訪ね、見学と軽めの昼食をお楽しみください。 午後、ホテルに戻ります。夕食はホテル内の「ドン・アルフォンソ 1890」にてお召し上がりください。 【ラヴェッロ泊】 朝昼夕	
9	ラヴェッロ07:45発 パーリ11:20発 ローマ12:30着 ローマ15:05発 →	朝、バスにてパーリ空港へ。 航空機にてローマへ。 航空機を乗り換え、帰国の途へ。	(機中泊) 朝□機
10	羽田空港11:20着	午前、羽田空港に到着後、解散。	機□□

※訪れる町々はいずれも小さな田舎町で道幅が狭いところも多いため、移動に中型バスを利用する場合があります。その場合は、必ずしもお一人様2席をご利用いただけない場合がありますので、ご了承ください。また、田舎町では中心部までバスで入ることができないこともあり、徒歩での移動距離が長くなる場合があります。
※お食事に関して、軽めのお食事からしっかりとコース料理、ピュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食6回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：開団時3か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

まだ見ぬヨーロッパ イタリア編

イタリア北東部フリウリから ヴェネトの美しい村々 9日間



古代フレスコ画の家と中世の時計塔、スピリンベルゴ

ここに注目。旅のポイント

古都ウディネに3連泊。 知られざるフリウリ州の 美しい村に出会う

カラフルな街並みが目を引くウディネ。北イタリアでも最東端にあたるフリウリ・ベネチア・ジュリア州に属し、州都トリエステに次いで2番目に人口の多い街(9万人)です。大きすぎず、小さすぎない、まさに3連泊するにはちょうどよいサイズの街と言えます。歴史的にはランゴバルド王国最初の首都であったり、東ローマ帝国の影響も強く受け、また、15世紀にはベネチア共和国の支配下だったこともあるため、街を散策しているとベネチア風の広場やギリシャ風の彫像、ローマ時代の柱など、様々な時代の変遷を感じることができます。この街で3連泊とし、フリウリ州の美しい村々を巡ります。



ウディネ旧市街は夜も絵になります(サン・ジャコモ教会前の広場)

世界遺産アクイレイアの 遺跡地域と 総主教聖堂バシリカ

ウディネから南に約40キロメートル。アドリア海に程近いアクイレイアはローマ帝政期に大司教座がおかれ、イタリア北東部の中心地として発展しました。かつては「第二のローマ」と呼ばれるほどの繁栄を誇り10万人もの人々が暮らす大都市でした。この村でぜひご覧いただきたいのが、アクイレイアの主教聖堂の床一面に残る色鮮やかなモザイク画です。20世紀に発見されるまで土で覆われていたため、保存状態が非常によく、4世紀に創られたとは思えません。西ローマ帝国最大とも言われるこのモザイク画は必見です。



現在も発掘調査が続けられるローマ遺跡。神殿や住居跡、市場も発掘されています



ツアープランナーより

「フリウリ・ベネチア・ジュリア自治州」はまだまだ紹介されていない美しい村、世界遺産がある未知なる楽しみが詰まった州です。この州の中心的な町のひとつウディネに3連泊とし、美しい村々や圧巻の古代ローマ都市、世界遺産「アクイレイア」など訪れます。旅の後半はヴィチエンツァを拠点にし、こちらも3連泊。村の小さな教会にベネチア派の巨匠の絵があったり、今は静かな村でも当時の繁栄の様子がかげがえします。決して観光客で賑わうような町や村ではありませんが、そこに暮らす人々が時代に翻弄されずに守ってきた郷土愛も強く感じられるはず。まだ見ぬヨーロッパを旅するツアーです。イタリア好きの方であってもきっと新しい発見があることでしょう。



主教聖堂内部、床一面に覆われたモザイク画



パッラーディオ設計の世界最古の屋内劇場「テアトロ・オリンピコ」。古代ローマ様式を採用し、遠近法を駆使した舞台が特徴です

ジョットの傑作を見学 「スクロヴェーニ礼拝堂」

14世紀に活躍したジョットが描いた壮大なフレスコ画がスクロヴェーニ礼拝堂内部にあります。初期ルネッサンス芸術の最高傑作とされ、内部の見学は完全予約制で15分のみ。この貴重な機会に圧巻の大壁画をご覧ください。



ジョットのフレスコ画が天井から壁面まで埋め尽くされたスクロヴェーニ礼拝堂

【ワールドおすすめの美しい村①フリウリ州】 レーゲネ川が流れる静かで美しいセスト・アル・レーゲナ

周辺には美しい田園風景が広がり、山からの水路が村を潤します。ローマ時代以前から都市を結ぶ街道沿いの村として築かれ、現在は大聖堂を中心に中世の雰囲気が残ります。8世紀に建てられた大聖堂は内部のフレスコ画が今なお彩色を残し見事です。



まるでお城のように美しく立派な門

【ワールドおすすめの美しい村②フリウリ州】 モザイクの村スピリンベルゴ

遠くにユリアンアルプスを望むモザイクの村。1000年前にこの地に広がったモザイク芸術が今なお日常の町並みに生き続けています。イタリア唯一のモザイクのみの専門学校があり、伝統を受け継いだ若き職人が今も町に彩を与え、活気があります。



可愛らしい建物が立ち並びスピリンベルゴのメインストリート

【ワールドおすすめの美しい村③フリウリ州】 フレスコ画が描かれたパイプオルガンを持つヴァルヴァソーネ村へ

フリウリ州の美しい村ヴァルヴァソーネ。人口はわずか2000人程ですが、イタリアの最も美しい村にも加盟しています。中世の建物を改装した現在の村役場庁舎をはじめ、いくつもの貴族の館が歴史を感じさせます。大聖堂内のパイプオルガンは美しいフレスコ画が描かれた木製のケースに収まっています。



このパイプオルガンを見るために多くの方が訪れます

【ワールドおすすめの美しい村④ヴェネト州】 中世の石壁が印象的なモンタニャーナ

どんな小さな村かと思っていると延々と伸びる城壁に驚かされます。静けさと荘厳ささえ漂う城壁都市、村の大聖堂にはジョルジョーネやヴェロネーゼ、ベネチア派の巨匠の作品に出会える。中世にはこの村がいかに力をもっていたかがうかがえます。



中世の歴史を物語るモンタニャーナの城壁

【ワールドおすすめの美しい村⑤ヴェネト州】 詩人ペトラルカの愛した村、アルクア・ペトラルカ

豊かな丘陵地帯に佇む小さな村。イタリア語の父とも呼ばれる詩人ペトラルカが1370年から亡くなる4年間を過ごした村。サンタマリア・アッスンタ教会には赤大理石でつくられた棺があり、村の中心もペトラルカ広場と名付けられ、今も村の人からも愛されていることがわかります。



ペトラルカが愛した村

利用予定航空会社：エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空、カタール航空、エールフランスグループ、ITAエアウェイズ、日本航空、ルフトハンザグループ、LOT ポーランド航空 ツアーコード：ES441T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田または羽田空港集合・9日間】 2月19日(木)、26日(木)	エコノミークラス利用 ¥598,000	ビジネスクラス利用 ¥1,178,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：【エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空、カタール航空利用の場合】東京～中近東主要都市～ポローニャ間に適用 【上記以外の航空会社の場合】日本発着の国際線区間のみ適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥72,000 / 6月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	各付帯サービスにつきましては 各支店へお問い合わせください
----------	--	----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港22:20発	夜、成田空港より、航空機にてドバイへ。	(機中泊) □□機
2	ドバイ05:30着 ドバイ08:55発 ポローニャ12:40着 ウディネ17:30着	航空機を乗り換え、ポローニャへ。着後、【美しい村】セスト・アル・レーゲナへ。8世紀にランゴバルド族によって建てられた●サンタ・マリア・ディ・セスト大聖堂などを見学します。 夕刻、ウディネに到着。	【3連泊】(ウディネ泊) 機機夕
3	ウディネ	午前、古都ウディネの観光。美しいルネッサンス式の「サン・ジョヴァンニの回廊」や○マッテオッティ広場などを散策。 昼食にはフリウリ州の郷土料理をご用意しました。 午後、自由行動。	(ウディネ泊) 朝昼□
4	ウディネ (アクイレイア)	午前、画アクイレイアの遺跡地域と総主教聖堂バシリカへ。第二のローマとも呼ばれローマ帝政期に大司教座がおかれ繁栄した古代ローマ遺跡を見学します。 午後、スロベニアとの国境に近い【美しい村】グラディスカ・ディンツォへ。ベネチア共和国とハプスブルク家の支配下にあった村の散策。 夕刻、ウディネへ戻ります。	(ウディネ泊) 朝昼夕
5	ウディネ09:00発 【スピリンベルゴ】 【ヴァルヴァソーネ】 ヴィチエンツァ 17:00着	午前、モザイクの村として有名な【美しい村】スピリンベルゴへ。村の散策へご案内します。 その後、フリウリ州西部の【美しい村】ヴァルヴァソーネへ。フレスコ画が描かれたパイプオルガンが有名な15世紀の●大聖堂を見学します。 夕刻、ヴィチエンツァのホテルに到着。	【3連泊】(ヴィチエンツァ泊) 朝昼夕
6	ヴィチエンツァ	午前、ヴィチエンツァの観光。●テアトロ・オリンピコ、○シニョーリ広場など訪ねます。 午後、自由行動。ご希望の方は近郊列車にてヴェローナにご案内します。	(ヴィチエンツァ泊) 朝□夕
7	ヴィチエンツァ 【モンタニャーナ】 【アルクア・ペトラルカ】	本日はヴェネト州の美しい村巡りへ。 午前、石壁で囲まれた【美しい村】モンタニャーナへ。●大聖堂にはジョルジョーネの堂々たる絵画があります。 午後、詩人ペトラルカの名を冠した【美しい村】アルクア・ペトラルカへ。●サンタマリア・アッスンタ教会には詩人ペトラルカの棺があります。 夕刻、ヴィチエンツァに戻ります。	(ヴィチエンツァ泊) 朝昼夕
8	ヴィチエンツァ08:30発 パドヴァ ベネチア15:25発	午前、パドヴァへ。ジョットのフレスコ画が残る●スクロヴェーニ礼拝堂を見学します。 その後、ベネチア空港へ。 午後、航空機にてドバイへ。	(機中泊) 朝□機
9	ドバイ00:15着 ドバイ02:55発 成田空港17:20着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夕刻、成田空港に到着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は成田空港発着のエミレーツ航空の利用を想定したものです。エミレーツ航空の羽田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。また、利用航空会社によってはベネチア空港又はミラノ空港を利用する場合があります。

※【お食事に関して】軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ピュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食4回、夕食5回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- ウディネ：アンバサダー・パレス・ホテル
ドゥオモヤリベルタ広場まで徒歩 10 分程に位置するホテルです。
- ヴィチエンツァ：アンティコ・ホテル・ヴィチエンツァ
ヴィチエンツァの中心部に位置し、主要観光スポットまで徒歩圏内で快適な滞在を楽しめます。

※バスツアー付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

まだ見ぬヨーロッパ イタリア編

知られざる北イタリア

ロンバルディアとトスカーナの美しい村々 9日間



トスカーナ東部にある美しい村アンギアーリ

ここに注目。旅のポイント

【イタリアの最も美しい村①】ボルゲット(ヴェネト州) スカラ家が治めた川沿いの美しい村

村の名は「要塞化された集落」を意味しますが、現在の村の姿は北イタリア・ガルダ湖へと流れ注ぐミンチョ川沿いに佇む水と緑の美しい村。村のシンボルは14世紀に造られたビスコンティ橋や昔ながらの水車、聖マルコに捧げられた教会など、歴史の足跡が随所に見られます。高台にあるスカラ家の居城、スカリジェロ城や17世紀シグルタ伯爵の邸宅を訪れ

ます。ミンチョ川のほとりのホテルに2泊しますので、朝に夕に村の散策をお楽しみください。



シグルタ伯爵の邸宅も見学します



村のシンボル、ビスコンティ橋は14世紀にロンバルディア領主によって建設されました(イメージ)

【イタリアの最も美しい村②】プリシゲッラ(エミリア・ロマーニャ州) 3つの丘が村を守り、中世の佇まいを今に残す

近郊の山で産した塩をフィレンツェまで運んだ「塩街道」。その街道沿いにあるプリシゲッラは3つの丘がそびえ、要塞や時計塔が建ち絵になる村。この村では4世代にもわたり食堂と宿を営んでいるホテル「ラ・ロッカ」に宿泊。4代目オーナーのダニエーレさんが手掛ける料理は、旅人と村の人たちを幸せにしてくれた。夕食はこのお宿でお楽しみいただきます。



宿のオーナー、ダニエーレさんの手料理は村の人に愛される幸せの味



プリシゲッラ旧市街(イメージ)

ツアープランナーより

昨年ご好評であった田舎を巡り田舎に宿泊する旅。村にある家族経営のホテルに宿泊することで田舎ゆえの温かさに触れられ、また、澄んだ空気の中、静寂に包まれた朝に散歩することで、中世の世界にタイムスリップしたかのような錯覚に陥るかもしれません。旅の舞台であるロンバルディアやトスカーナへは行かれた方も多いかと思いますが、このたびのツアーでは、絵画の巨匠たちが描いた作品に思わぬ小さな村で出会い、素朴ながらもマンマたちが作り上げた郷土料理に舌鼓と、新たな発見や感動が皆様を誘うことでしょう。



【イタリアの最も美しい村③】アンギアーリ(トスカーナ州) ダ・ヴィンチの大壁画の舞台としても有名な美しき村

トスカーナ東部の山と渓谷の多い地域にあるアンギアーリは、中世の村がそのまま現代に蘇ったような外観です。15世紀の門をくぐると

ンチが壁画として描いた大作「アンギアーリの戦い」の舞台がひろがります。村の入口近くのホテルに3泊、ルネッサンス期の画家ピエロ・デラ・フランチェスカの故郷でもあるサンセポルクロも訪れます。



(左)旧市街は中世フィレンツェ共和国時代の歴史がそのまま残ります (右)アンギアーリの隣町サンセポルクロではピエロ・デラ・フランチェスカの作品を鑑賞します

トスカーナの小さな町々へ 中世の城壁が残る町アレツツォやモンテプルチアーノ

城壁に囲まれた美しい中世の町アレツツォ。その歴史は古く、紀元前のエトルリア時代にまで遡り、ルネッサンス期にはフィレンツェやシエナに次ぐ文化の中心地の一つとなりま

した。ここでは、サン・フランチェスコ教会やグランデ広場へご案内します。また、トスカーナらしい丘陵地の広がる風景の中に佇む町モンテプルチアーノにもご案内します。



トスカーナらしい風景の中に佇むモンテプルチアーノの町

伝統職人の技と情熱老舗メーカーで 本物のバルサミコに出会う

ワインやオリーブオイルに比べ、バルサミコの製造工程はまだ十分に知られていないのではないのでしょうか。今回のツアーでは老舗マルピーギ社を訪れ、その製造工程を見学します。実際に使用している樽や器具を見ながら、そして最後にテイスティングまでできる場所です。原料はブドウのみ。品種もトレビアーノ種、あるいはランブルスコ種のみ。添加物は一切加えず樽熟成だけでつくられます。最低でも12年以上熟成はトラディツィオナーレ・ディ・モディナDOPと呼ばれ、深い甘味で酸味は穏やか。皆様もお気に入りの一本を見つけてみてはいかがでしょうか。



実際にバルサミコをテイスティング (イメージ)



マルピーギ社のバルサミコ

利用予定航空会社：エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空、カタール航空、エールフランスグループ、LOT ポーランド航空、フィンエアー、ITA エアウェイズ、日本航空、ルフトハンザグループ
ツアーコード：ES022T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田または羽田空港集合・9日間】 2月18日(水), 25日(水)	エコノミークラス利用 ¥598,000	ビジネスクラス利用 ¥1,178,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：【エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空、カタール航空利用の場合】東京～中東主要都市～ポローニャ間(ポローニャ間)に適用 【上記以外の航空会社の場合】日本発着の国際線区間のみ適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥72,000 / 6月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がご不明な点や 各支店へお問い合わせください
----------	--	-------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港	22:20 発	夜、成田空港より、航空機にてドバイへ。 (機中泊) □□機
2	ドバイ	05:30 着 08:55 発 12:40 着 17:00 着	航空機を乗り換え、ポローニャへ。 着後、ガルダ湖から流れ出るミンチョ川沿いにある村ボルゲットへ向かいます。 【2連泊】(ボルゲット泊) 機機夕
3	ボルゲット		この日はイタリアの最も美しい村でゆっくりとお過ごしください。 午前、ボルゲットの散策。○スカリジェロ城と●ヴィラ・シグルタの見学にご案内します。 午後、自由行動。 (ボルゲット泊) 朝昼□
4	ボルゲット	08:30 発	午前、バスにてモデナ近郊の●バルサミコ酢工場を訪問。製造工程からテイスティングまでお楽しみいただけます。 その後、モデナの○グランデ広場、●大聖堂を見学します。 昼食は地元で人気のレストランにて郷土のバスタ料理などをお召し上がりください。 【プリシゲッラ泊】朝昼夕
5	プリシゲッラ	17:00 着	午後、山の麓にあり、要塞化された村プリシゲッラへ。夕食は、4世代続く宿の自慢の料理をホテル内レストランにてお楽しみください。 (プリシゲッラ泊) 朝昼夕
6	プリシゲッラ	14:00 発 アンギアーリ 17:00 着	午前、プリシゲッラの散策。3つの高い丘に囲まれた村をご案内します。時計台の丘へ登り、そこから城塞(ロッカ)へ向かいます。午後、フィレンツェ共和国の一都市で、ダ・ヴィンチが描いたことで知られる丘上の城郭都市アンギアーリへ。ご宿泊は「ホテル・ラ・メリディアーナ」です。 【3連泊】(アンギアーリ泊) 朝昼夕
7	アンギアーリ		午前、アンギアーリの徒歩観光。ダ・ヴィンチの描いた「アンギアーリの戦い」の風景を望む展望スポット、●サンタマリア・デル・グラツィエ教会などを巡ります。 昼食はトスカーナ地方の郷土料理をご用意しました。 その後、公共バス(約20分)にて、ピエロ・デラ・フランチェスカの故郷サンセポルクロへ。代表作「キリストの復活」など展示されている●市立美術館を見学します。 (アンギアーリ泊) 朝昼□
8	アンギアーリ	08:30 発 ポローニャ 14:30 発 ドバイ 23:20 着	終日、城壁に囲まれた中世の町アレツツォや、オルチャ渓谷のモンテプルチアーノへご案内します。モンテプルチアーノの町の展望ポイントからは、糸杉のトスカーナらしい景観が眺められます。 (アンギアーリ泊) 朝昼夕
9	アンギアーリ	08:30 発 ポローニャ 14:30 発 ドバイ 23:20 着	午前、ポローニャ空港へ。午後、航空機にて、ドバイへ。 (機中泊) 朝□機
9	ドバイ	02:55 発 成田空港 17:20 着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。夕刻、成田空港到着後、解散。 機機□

※日程表の時刻は成田空港発着のエミレーツ航空の利用を想定したものです。エミレーツ航空の羽田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。また、利用航空会社によっては、ポローニャ空港以外のイタリア主要都市空港を利用する場合があります。

※訪れる町々はいずれも小さな田舎町で道幅が狭いところも多いため、移動に中型バスを利用する場合があります。その場合は、必ずしもお一人様で2席をご利用いただけない場合がありますので、ご了承ください。また、田舎町では中心部までバスで入ることができないこともあり、徒歩での移動距離が長くなる場合があります。※お食事に関して：軽めのお食事からしつかりとしたコース料理、ピュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等の食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食5回、夕食4回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- ボルゲット：コルテ・レギアルレ
- プリシゲッラ：ラ・ロッカ
- アンギアーリ：ホテル・ラ・メリディアーナ

※ツアーでご宿泊いただく町や村は、いずれも小さな田舎の村となり宿泊施設も限られます。土地柄、設備は都市部のホテルに比べて劣りますので、予めお込みおきください。※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプが、ダブルベッド+ソファベッドの組み合わせとなる場合があります。

まだ見ぬヨーロッパ 南フランス編

オーヴェルニュ地方の美しい村々と ロマネスク教会探訪の旅 9日間



岩山がそびえる聖地ル・ピュイ (イメージ)

ツアープランナーより

フランスで最も古い地方のひとつのオーヴェルニュ地方は日本ではあまり知られていませんが、火山の噴火でせき止められた川により、大小の湖が作られ、豊かな自然に恵まれています。また、中世にサンチャゴ巡礼路の起点となったル・ピュイがあり、多くの巡礼者を受け入れるため、ロマネスク様式の教会が建てられました。そして、山に囲まれた地域ゆえに交通網が発達せず、時代の発展から取り残されたため、中世の趣を現在にとどめています。今回は巡礼の地ル・ピュイ、火山岩を利用した独特な建物が並ぶクレルモン・フェランに2連泊し、「フランスの最も美しい村」に登録されている、小さくも魅力的な村々を巡ります。パノラマ登山列車に乗りし、ピュイ・ド・ドームの山頂からオーヴェルニュ地方のパノラマもご覧いただけます。雄大な自然と歴史深い町並みが調和するオーヴェルニュ地方をご満喫いただくコースです。



ピュイ・ド・ドームへはパノラマ登山列車にて (イメージ)



オルシヴァルは9世紀には巡礼地として知られていました

ここに注目。旅のポイント

「フランスの最も美しい村」協会に加盟する村々を訪ねます

地方の村の保全と活性化を目指して1982年に設立された「フランスの最も美しい村」協会。厳密な選定基準をクリアし、現在は180近い村が登録されています。このたびはオーヴェルニュ地方の特徴的な3つの村をご案内します。

サン・クロワ・アン・ジャレ

自然公園内に位置する村。13世紀に歴史を遡る修道院の建物は、フランス革命後、修道士が去った後、そのまま村の発展とともに使われ、現在は役場や学校、家などを擁します。



左側に見える鐘楼は修道院付属のもので、ロマネスク様式の回廊が残っています

モンペイルー

13世紀に造られたという塔が印象的。多くの建物は同地の特産であった黄色い花崗砂岩で造られており、可愛らしい雰囲気です。高品質なワインでも知られています。



オーヴェルニュ火山帯に聳える村 (イメージ)

ラヴォデュー

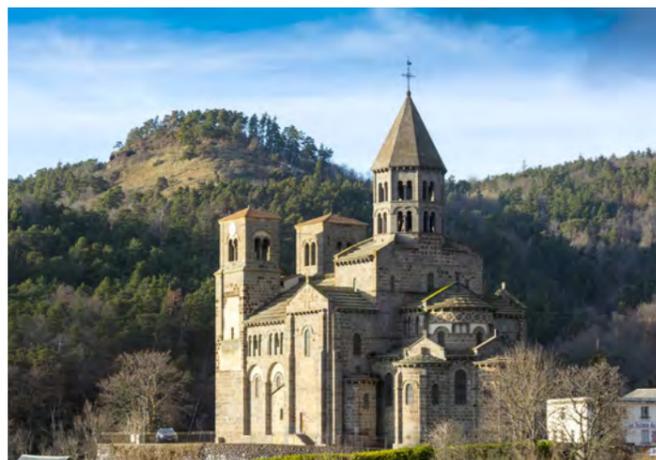
「神の谷」という名の村の起源は、11世紀に建てられたベネディクト会修道院に由来しています。修道院にあったキリスト像の頭部は現在ルーブル美術館にあります。

巨大な岩山が聳える巡礼の起点ル・ピュイと ロマネスク教会群へ

フランスに4つあるサンティアゴ巡礼路の起点のひとつがル・ピュイ。約1600kmもの巡礼路はノートルダム大聖堂から始まり、今も巡礼者を朝のミサで送り出しています。ツアーでは、荘厳な大聖堂での朝のミサにご案内するほか、巡礼路に点在する5大ロマネスク教会へご案内します。



ル・ピュイの大聖堂 朝のミサの風景 (添乗員撮影)



サンネクテール教会はこの地で3世紀に宣教したサンネクテールに捧げられています (イメージ)

リオンでは歴史散策や美食を楽しみましょう

古代ローマ時代に端を発し、ジャガード織りなど織物産業で発展したリオン。どこを歩いても歴史の薫り漂う散策しがいのある街であるとともに、スペインのバスク地方に位置するサン・セバスチャンと双壁を成す美

食の街でもあります。地元の人が足繁く通う「ブション」と呼ばれるカジュアルなレストラン(フランス版大衆食堂のようなイメージ)のレベルの高さにも驚きです。



大衆食堂の立ち位置のブションは地元の人が集う場所 (イメージ)



お食事もお楽しみください (イメージ)



フルヴィエールの丘からはソーヌ川とローヌ川が見渡せます (イメージ)

利用予定航空会社: エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、カタール航空、エールフランスグループ、エティハド航空、フィンエア、LOT ポーランド航空、ルフトハンザグループ ツアーコード: ET171T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田または羽田空港集合・9日間】 3月11日(水), 18日(水)	エコノミークラス利用 ¥625,000	ビジネスクラス利用 ¥1,205,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥100,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間: 【エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、カタール航空、エティハド航空利用の場合】 日本~中東主要都市~リオン間に適用 【エールフランスグループの場合】日本発着の国際線区間に適用		
燃油サーチャージ別途目安: ¥72,000: 5月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋~東京 片道	福岡・札幌~東京 片道	旅行代金
	¥5,000	¥10,000	

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港	22:20発	夜、航空機にてドライブ。(機中泊) □□機
2	ドバイ05:30発 ドバイ08:35発 リオン12:50着 サン・クロワ・アン・ジャレ ル・ピュイ17:00着	航空機を乗り換え、リオンへ。その後、「フランスの最も美しい村」協会に加盟する★サン・クロワ・アン・ジャレへ。修道院群がそのまま村となった珍しい村内を散策します。その後、ル・ピュイへ。	【2連泊】(ル・ピュイ泊) 機機夕
3	ル・ピュイ	朝、大聖堂で行われる巡礼者への祝福のミサを見学します。その後、ル・ピュイの観光。●大聖堂、○フランスの聖母像、●サン・ミッシェル・デグイユ礼拝堂へご案内します。午後、自由行動。	(ル・ピュイ泊) 朝□夕
4	ル・ピュイ08:30発 ラヴォデュー イソワール モンペイルー サン・サテュルナン クレルモン・フェラン17:30着	午前、「神の谷」という名の村★ラヴォデューの散策。その後、イソワールにある■旧サントストルモワ修道院を見学します。午後、塔が印象的な村★モンペイルーや、サン・サテュルナンのサン・サテュルナンに立ち寄り、クレルモン・フェランへ。	【2連泊】(クレルモン・フェラン泊) 朝昼□
5	クレルモン・フェラン	午前、クレルモン・フェランの観光。■ノートルダム・デュ・ポール・バジリカ聖堂と●ノートルダム・ド・ランブション大聖堂を見学します。午後、自由行動。(クレルモン・フェラン泊) 朝□夕	
6	クレルモン・フェラン08:30発 オルシヴァル サン・ネクテール リオン18:00着	午前、パノラマ登山列車に乗りし、標高1464mの○ピュイ・ド・ドームの山頂へ。雄大なオーヴェルニュ地方の山並みをご覧ください。(注) 昼食はオーヴェルニュ地方のチーズを使った郷土料理を用意しました。午後、オルシヴァルにある■ノートルダム・バジリカ聖堂の見学。その後、チーズの産地サン・ネクテールにある■サン・ネクテール教会を見学します。その後、リオンへ。	【2連泊】(リオン泊) 朝昼□
7	リオン	午前、リオン歴史地区の散策へ。ルネサンス期の抜け道「トラブル」見学やケープルカーにてフルヴィエールの丘へご案内します。昼食はリオンの郷土料理を提供する伝統的なブション(リオン特有のフランス版大衆食堂)にて。午後、自由行動。	(リオン泊) 朝昼夕
8	リオン14:00発 ドバイ23:59着	午前、自由行動。その後、リオン空港へ。午後、航空機にてドライブへ。	(機中泊) 朝□機
9	ドバイ02:55発 成田空港17:20着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。夕刻、成田空港到着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は、成田空港発着のエミレーツ航空の利用を想定したものです。エミレーツ航空の羽田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。また、利用航空会社によっては、現地空港はリオン以外の周辺空港を利用する場合があります。
※お食事に関して: 軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。
★印が付いた村は、「フランスの最も美しい村」協会に加盟している村です。■印が付いた教会は巡礼路に点在する5大ロマネスク教会です。
(注) 悪天候等の事情で運休となる場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員: 10名様 ■食事: 朝食6回、昼食3回、夕食4回 ■添乗員: 成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間: 帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄: 2ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- ル・ピュイ: ホテル・レジーナ
- クレルモン・フェラン: メルクユール・クレルモン・フェラン・サントル・ジュード
- リオン: ソフィテル・リオン・ベルクール

※バス・タクシー・船室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

有名なチーズ「サン・ネクテール」

村の名前がそのままチーズの名前として知られるサン・ネクテール。17世紀にはルイ14世にも献上されました。ヘーゼルナッツやピーナッツのような香りが特徴的な柔らかい舌ざわりのチーズです。見かけたらぜひご賞味ください。



サン・ネクテールのチーズ(イメージ)

まだ見ぬヨーロッパ 北スペイン編

カンタブリア・アストゥリアスとガリシア探訪の旅 11日間



アストゥリアス王国の首都であったオビエド。旧市街の中心、カテドラルと広場

ここに注目。旅のポイント

レコンキスタの源流、アストゥリアス王国の首都オビエド

スペイン北部に位置するアストゥリアス州。8世紀にアストゥリアス王国として建国し、南からやってきたイスラム勢力を駆逐し、王都をオビエドに定めました。イベリア半島史においてまさにレコンキスタの起点となった州であり、強大なキリスト教

国として発展したのがオビエドです。今回はオビエドの中心に連泊し、町の中心に聳える壮麗なカテドラルや郊外に建つスペイン最古の王国の記憶を伝える前口マネスク様式の教会などを訪ねます。



アストゥリアス王国の建築の傑作と称されるサンタ・マリア・デル・ナランコ教会

ガリシア州では大西洋と神秘的ケルト遺産を訪ねる

スペイン北西部ガリシア地方はフランス・ブルターニュ地方と並び、古代ケルト文化が色濃く残る場所です。中世以降はサンチャゴ巡礼の終着点として繁栄し、様々な文化が混ざる独特な文化を形成しました。しかしながら、最果ての地であることから、ケルト文化は時代の流れとともに消えることなくこの地に残っています。神秘的なサークルストーン

やオレオという高床式の倉庫が海沿いに広がっていたり、知らなかったスペインに出会えるはずですよ。



オレオという高床式の倉庫が建ち並ぶ



ケルトの集落遺構が残るムロス

ツアープランナーより

スペインのこだわりルートで訪ねる旅。巡礼路の目的地、聖地サンチャゴのあるガリシア州はスペイン最西端、最果ての地として、ケルトの文化が残り、他の地域には見られない独特の建築や石の住居跡が残ります。また、アストゥリアスは北部の小さな州ですがレコンキスタ発祥の地として大変重要な歴史が刻まれた地でもあります。スペイン北部を東から西へ、西端の海岸線を南下し、ポルトガルへと抜けるルートでご案内します。歴史的、文化的にも見どころが多い地域、連泊中心のゆとりある日程としています。また、歴史的建造物をホテルに改装した人気のパラドールをスペインで2か所、ポルトガルではポサーダに1か所の宿泊とし、郷土料理とあわせてお楽しみください。



丘の上から見たヴィアナ・ド・カステロの町(イメージ)

聖地サンチャゴ・デ・コンポステーラでもゆとりの連泊

約1000年にわたり巡礼者が目指す聖地サンチャゴ・デ・コンポステーラ。巡礼者たちを迎え入れる大聖堂だけでなく、石畳の旧市街はどこを歩いても絵になります。今回は地元の人で賑わうアバストス市場もご案内いたします。新鮮な海の幸とガリシア州特産の白ワインなどぜひお楽しみください。



聖地サンチャゴ・デ・コンポステーラの大聖堂

ミーニョ川を渡り、北ポルトガルのヴィアナ・ド・カステロへ

スペインのガリシア地方との国境を成すミーニョ川の岸边には、独特の風情をみせる町や村が多く残っています。スペイン側国境の河畔の町トウイを越えてポルトガルへ入ると、雰囲気ガラリと変わります。ポルトガル最北部にあるヴィアナ・ド・カステロはリマ川が大西洋に注ぐ河口の町で、海と川と山に囲まれた、中世以来の貴族の館が建ち並ぶ旧市

街が魅力です。ポルトガル北部の隠れた美都に旅の締めくくりに宿泊します。



スペインとポルトガルの国境のミーニョ川(イメージ)

ご宿泊ホテル サンティジャーナ・デル・マル、ポンテベドラではパラドールを、ヴィアナ・ド・カステロではポサーダでの宿泊をご用意

歴史的な宮殿や城館を宿泊施設に改装したホテルは、スペインではパラドール、ポルトガルではポサーダとして運営され、旅行者に人気のホテルとなっています。このたびは、3か所においてパラドールあるいはポサーダでの宿泊をご用意しておりますので、観光だけではなくホテル滞在自体もお楽しみください。

■ サンティジャーナ・デル・マル：パラドール・デ・サンティジャーナ・ヒル・プラス

この町出身の小説上の主人公の名を冠したパラドールは、15世紀の邸宅を利用しており、アンティーク調の家具も相まって入口に足を踏み入れた瞬間から歴史を感じさせてくれます。



旧市街に建つパラドール

■ ポンテベドラ：パラドール・デ・ポンテベドラ

16世紀のルネサンス様式の宮殿を利用したパラドールで、洒落た家具や装飾品、荘厳な石階段で彩られた内装は、中世の貴族の館そのものです。絵画や鏡、燭台で飾られたレストランなど、館内は上品な雰囲気に包まれています。



パラドールの外観

■ ヴィアナ・ド・カステロ：ポサーダ・ヴィアナ・ド・カステロ

大西洋を見渡すサンタルジア山の山頂に建つポサーダ。町を見下ろすテラスからは絶景が広がり、ラウンジから見える教会も印象的です。



ラウンジからはネオビザンチン様式のサンタルジア教会が望めます

- オビエド：バルセロ・オビエド・セルバンテス
- サンチャゴ・デ・コンポステーラ：ホテル・コンポステーラ

※バスツアー付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エールフランスグループ、ルフトハンザグループ、イベリア航空、プリティッシュエアウェイズ、エミレーツ航空、カタール航空 ツアーコード：ES285T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田または成田空港集合・11日間】 2月23日(月)	エコノミークラス利用 ¥708,000	ビジネスクラス利用 ¥1,288,000
3月9日(月)	エコノミークラス利用 ¥718,000	ビジネスクラス利用 ¥1,388,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥95,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：【ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空】：東京～中東主要都市～ビルバオ、ポルト～中東主要都市～東京に適用 【上記以外の航空会社】：日本発着の国際線区間にのみ適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥62,500 / 6月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包摂条件がございますので各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港22:05発	夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05:40着 イスタンブール08:40発 ビルバオ11:00着 アルタミラ サティジャーナ・デル・マル16:00着	着後、航空機を乗り換え、ビルバオへ。 着後、 アルタミラ洞窟 へ。●博物館を見学します。 その後、 サンティジャーナ・デル・マル へ。	(サンティジャーナ・デル・マル泊) 機□夕
3	サティジャーナ・デル・マル17:15着 ヒホン オビエド17:00着	午前、中世の面影を残す、石畳の道、教会が残る サンティジャーナ・デル・マル旧市街 の観光へ。 午後、 カンタブリア海沿い を走り、銀の道の起点となる 港町ヒホン に立ち寄りませす。 その後、 オビエド へ。	【2連泊】(オビエド泊) 朝昼夕
4	オビエド	午前、 アストゥリアス王国の建造物群 より、● サンタ・マリア・デル・ナランコ教会 と● サン・ミゲル・デ・リリョ教会 にご案内します(注1)。 午後、 オビエド歴史地区の徒歩観光 。● カテドラル 、● 考古学博物館 、● アストゥリアス美術館 にご案内します。	(オビエド泊) 朝昼□
5	オビエド09:00発 ルーゴ サンチャゴ・デ・コンポステーラ17:30着	午前、 ローマ時代からの城壁が残る城郭都市ルーゴ へ。着後、 城壁ウォーク や● カテドラル にご案内します。 その後、 聖地サンチャゴ・デ・コンポステーラ へ。	【2連泊】(サンチャゴ・デ・コンポステーラ泊) 朝昼夕
6	サンチャゴ・デ・コンポステーラ	午前、 サンチャゴ・デ・コンポステーラの徒歩観光 。 キリスト教三大聖地 で巡礼路の終着点でもある● 大聖堂 を見学します。その後、ガリシア州の新鮮な食材が並び市民の台所● アバストス市場 もご案内します。 午後、自由行動	(サンチャゴ・デ・コンポステーラ泊) 朝□□
7	カサ・ド・コウバダ09:00発 フィニステレ岬 ムロス ポンテベドラ17:00着	午前、ガリシアの最西端 フィニステレ岬 へ。 その後、 ケルトの文化が残るムロス に立ち寄りませす。ケルト人の住居跡、サークルストーンを見ることが出来ます。 夕刻、 ポンテベドラ へ。	【2連泊】(ポンテベドラ泊) 朝昼夕
8	ポンテベドラ (コンパロ、ラ・トー八島、リバドゥミア)	午前、伝統的なガリシア住居が残る コンパロ に立ち寄り、 ラ・トー八島 へ。ホタテ貝に覆われた 貝の礼拝堂 にご案内します。 午後、 リバドゥミア にある キンティエロ・ダ・クルス邸 へ。	(ポンテベドラ泊) 朝昼□
9	ポンテベドラ11:30発 ヴィアナ・ド・カステロ17:00着	午前、 ポンテベドラの散策 。○ カテドラル 、巡礼者のための○ 聖母教会 にご案内します。 その後、国境を越え ポルトガルのヴィアナ・ド・カステロ へ。	(ヴィアナ・ド・カステロ泊) 朝昼夕
10	ヴィアナ・ド・カステロ11:00発 ポルト16:10発 イスタンブール23:55着	午前、 サンタルジア山からの眺め を堪能し、 アズレージョ が美しい● ミゼリコルディア教会 を見学します(注2)。 その後、 ポルト空港 へ。 午後、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝□機
11	イスタンブール02:30発 羽田空港19:45着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、 羽田空港 着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は、羽田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。他の便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注1) 教会の都合で入場できない場合は外観のみのご案内となります。
(注2) 利用航空会社によってポルト発の時間が変更になる場合は、9日目にヴィアナ・ド・カステロの観光にご案内します。
○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等の食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上必要